

第1回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会管理部会会議録

- 日時 平成29年5月26日（金）午後3時10分
- 場所 遠軽町役場 3階 第3会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 会議内容

1 開会

進行：地域拠点施設準備室今井

2 議題

説明：地域拠点施設準備室今井

（1）部会長の選出について

説明要旨
（事務局） <ul style="list-style-type: none">・ 部会長の選出にあたって、どのような方法で決めるのが良いか、委員の皆様からの意見をお願いしたい。

【意見】

発言者	内容
藤江委員	宮崎委員を推薦いたします。
事務局	ただ今推薦があったとおり、宮崎委員に部会長をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。
一同	（賛成の声）
宮崎部会長	皆様の協力のもと進めていきたいと思えます。細かい内容が多いですが、頑張りますので、よろしく願いいたします。

（2）（仮称）えんがる町民センターの管理運営について

進行：宮崎部会長

説明：地域拠点施設準備室今井

説明要旨
（事務局） <ul style="list-style-type: none">・ 議題に入る前に、（仮称）えんがる町民センター建設に伴うアンケート調査の集計結果（H29.5.26時点）を報告する。町内の58の社会教育団体からアンケートを取ったものの途中経過であり、内容としては主な活動場所や活動日数、曜日、時間帯などの問1～9までの調査となっている。現在、福祉センターを利用していない団体でも、町民センターを利用したいという意見や、料金に応じて利用を検討するといった意見があった。すべての回答がそろった段階で改めてお示ししたい。・ 資料1については、まず、「1 管理運営検討の目的」ということで、これまでの経過のおさらいをして、管理運営方針を策定するための基本的な事項をまとめる方針を確認している。 「2 施設の具体的な機能について」は、（1）音楽活動機能、（2）公民館活動機能、（3）にぎわい創出機能、（4）防災機能ということ、具体的な機能を示している。

「3 管理運営の基本的な検討事項について」は、(1) 施設運営、(2) 運営組織ということで、前述の施設の具体的な4つの機能を十分に活かすとともに、望ましい管理運営のあり方について検討するものである。

「管理運営検討シート」は、施設運営と運営組織について、委員の皆様から意見をいただきながら表を埋めて、まとめていくものである。

- 資料2は町内公共施設の管理内容ということで、福祉センター・青少年会館・コミュニティセンター・総合体育館・基幹集落センターの5施設について条例及び規則から抜粋し、一覧表にしたものである。
- 資料3は福祉センターの利用状況ということで、まず3-1は平成27年度の各月における諸室の利用状況についてまとめたものであり、3-2は平成27年度の各月における諸室の団体別利用状況についてまとめたものである。また、参考として福祉センターの各階の平面図を添付している。
- このほかに、類似する施設についての資料を配付している。札幌市の教育文化会館、かでの2・7、美幌町のびほーる、北見市の芸術文化会館などを紹介しており、これらを参考にしながら、管理運営検討シートを埋めていきたい。

【意見】

発言者	内容
横田部会長	まずは、資料1の基本的な考え方について、意見はありますでしょうか。
大西委員	「3 管理運営の基本的な検討事項について」の中に運営組織ということで、2つの項目が出ていますが、新たにこういったホールができるにあたって、活性化につながるソフトの開発について、入っていないのはどうしてでしょうか。オープンまで4年近くありますので、人を呼び込めるような、ソフトの開発という項目があるべきだと思います。
事務局	管理運営方針の基本的な部分を固めていく中で、ソフト面の色々な検討をしていくように考えています。
大西委員	ついでに出てくる問題ではないと思います。箱をつくったことで、町にプラスになることを考えていかなければならないと思います。新しいことに挑戦しなければ、税金を使って箱をつくる意味がないのではないのでしょうか。
宮崎部会長	ソフトの開発については、具体的にどのようなことが考えられるでしょうか。
大西委員	今までホールがなくてできませんでした。遠軽にしかできないソフトを開発するということで、一つの案としては、世界的なピアノメーカーであるヤマハのピアノの部材を作っている工場があるものの、広く知られていないという現実がある中で、「ヤマハピアノのふるさと」ということで、ピアノコンクールができないかと考えています。ヤマハの協力は必要になります。企業としてもプラスになるし、工場で働く高い技術を持った職員も、誇りを持てると思います。

	もう一つは、芦別市で中学生を対象に「星の降る里ポップスコンクール」という演奏会を毎年3月に開催しており、オホーツク管内からは網走第二中学校と上湧別中学校が参加していますが、過去に両校ともグランプリを受賞しています。遠征の費用負担も大きいということもあり、このような大会を遠軽で開催してはどうでしょうか。
事務局	大西委員からは以前から意見をいただいておりますが、念頭には置いているところですが、今回は基本的な部分を固めていく中で自主文化事業の企画立案を想定しており、専門的な知識を持った方に集まっていただいております。
大西委員	具体的でなくても、項目として「ソフトの開発」と入れておいていただきたいと思います。
宮崎部会長	そういったことも、管理部会に入れて検討していくこととします。
伊藤委員	進めていくにあたって、柔軟性を持って考えていかなければなりません。
事務局	ソフトの開発を含めた中で、進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
宮崎部会長	それでは、管理運営検討シートの中身に入りしたいと思います。
事務局	それぞれの検討区分に対して、色々な意見をいただきたいと思います。
宮崎部会長	まずは、①開館日、開館時間についてご意見をお願いします。
井上委員	運営はどこがするのでしょうか。
事務局	町の直営か、指定管理を想定しています。
大西委員	商工会議所の話はどうなったのでしょうか。そこが決まらないと、進まないのではないのでしょうか。
事務局	ある程度の事務室の大きさや書庫のスペースが必要になってきます。また、福祉センターの貸館の部分で管理委託をしており、そういった財源があることをベースに検討しているところです。ホールの維持管理を含めて考える必要がありますし、延床面積も当初計画よりも今のところオーバーしており、スペースが取れるのかという問題もありますので、もう少し時間のかかる部分です。
宮崎部会長	商工会議所が入るかは決まっていないということですね。どこが管理運営するのかについても、未定ということです。
本田委員	かでの2・7では休館日が12月29日から1月3日のみとなっていますが、実状はどうなのでしょう。
アドバイザー	現実的にやっています。都心部で使いやすい場所にあるのでお客さんは来るようです。地域の劇場では、決まった休館日はなく、フレキシブルに設定しているところが多いです。
本田委員	そうしていただくと利用する方も助かると思います。
事務局	福祉センターは、平成27年度は361日開館しており、休館日は年末年始のみでした。

平野委員	防災拠点になるということで、避難所が休みということにはならないし、メンテナンス等は別として、休館日はない方が良くと思います。
藤江委員	<p>休館日は福祉センターに準じるのが良くと思います。問題は料金であり、無料にすれば稼働率は上がりますが、財政面を考えるとそうはなりません。</p> <p>大雪災害の際などに、避難所となるげんき21には、大型トラックをとめる場所がないという問題がありますが、町民センターの駐車場は広いので良いですね。</p> <p>また、すべてを指定管理にするよりも、部分的な業務委託という形が良いのではないのでしょうか。指定管理者でもって物事を決めるわけにはいかないとします。</p> <p>それから、色々なことができるような形にしたら良くと思いますが、例えば以前は直営だった温水プールは、大会時など時間にならないと開場はせず、外で待たせるという状況で苦情が出ていましたが、体育協会が指定管理者になってそういった問題が解消されました。小さいことですが、大事なことです。</p>
宮崎部会長	休館日については、福祉センターに準じるという意見が多いようです。続いて開館時間、受付時間についてはいかがでしょうか。
藤江委員	9時から22時というところが多いのではないのでしょうか。
事務局	福祉センターも9時から22時となっています。
アドバイザー	9時から21時までで、前後1時間ずつ余裕を見ているところが多いと思います。例えば21時に幕が下りて片づけて22時といった形です。
本田委員	今までの福祉センターと同じ考え方で良くと思います。
宮崎部会長	受付時間についてはどうでしょうか。
アドバイザー	10時から17時というところが全国的にも多いと思います。
本田委員	申込みはそれに合わせます。
清水川委員	インターネットを利用した申請についての受付体制は取るのでしょうか。
宮崎部会長	次の②利用申請方法で検討しましょう。基本的には窓口の受付は10時から17時ということですね。
本田委員	利用の申請方法については、施設によってまちまちです。バッティングした時の対応も話し合いやくじ引きであったり、年間通して決まっているところには、空いていても入れてもらえなかったり、ということもあります。
伊藤委員	申請する本人は、事前に年間のスケジュールはわかりません。その周知の仕方が難しいと思います。
本田委員	30分くらいのズレで入れなかったり、色々なことがあります。
大西委員	学校などは年間の行事予定が決まって早めに申請をしているでしょうし、仕方ない部分はあると思います。受付の窓口は一元化してスケジュール

	<p>ルの管理をしなければならぬと思います。そしてそれが早い者勝ちなのか、抽選なのか、ルールを決めなければなりません。</p>
本田委員	<p>吹奏楽など、1週間以上ずっと使ったりすることがありますが、そういったときは他の団体が入れなくなります。暗黙の了解で決まっています、その間の1日使いたいといっても、無理だと言われます。</p> <p>また、学校のスケジュールもまとめて入っていることが多く、直前にならないと利用するかしないかがわからず、予約が取れないといったこともあります。</p>
藤江委員	<p>福祉センターではまずは電話で空いているかを聞いた上で予約し、後日、申請するといった形です。ただ、問題点があって、例えば12月の土曜日をすべて押さえて、結局使うのはその内の1日だけで、日程が未定だからとりあえず、といったことが実際にあり得ます。</p>
宮崎部会長	<p>他にも、実際にこうなると困る、といった意見はありませんでしょうか。</p>
大西委員	<p>電話予約は必要だと思いますが、複数日の予約はどうなのかなと思います。</p>
アドバイザー	<p>通常、電話予約やインターネット予約はあまりしません。なぜかということ、暴力団関係や詐欺まがいの展示会などの利用が考えられるため、窓口に来てもらい、どういう団体なのか申請書に記入してもらった上で、内部で協議する必要があります。それによっては警察と連携して対応することがあります。</p> <p>これから電話やインターネット予約も増えてくるかもしれませんが、そういった予防策が必要だと思います。都心部では申込み時に半額を前金で入れてもらうといったこともしています。それにより何か所も同時に予約ということは防ぐことができます。</p>
宮崎部会長	<p>細かいところはたくさんあると思いますが、基本的な事項についてはいかがでしょうか。</p>
大西委員	<p>遠軽と都会とでは違う部分もあると思います。町内でどういう団体かわかっているのであれば、良いのではないのでしょうか。</p>
アドバイザー	<p>書いていただく方が、受け付ける側としても安心だと思います。</p>
大西委員	<p>電話で確認して、窓口で申請という流れですね。</p>
伊藤委員	<p>突発的に衆議院選挙が行われることがあり、優先的に小ホール等を使うことがありますので、条文化するときに一言入れておく必要があると思います。</p>
アドバイザー	<p>公立の文化施設では、基本的に国→北海道→自治体という順で優先されます。空き状況を公表してしまうと、脅されたり金で買ったりということが発生する恐れがありますので、やはり窓口に来て申請書を書いてもらうのが安全だと思います。</p>

事務局	かでの2・7では事前に利用者の登録をした上で、電話やインターネットの予約もしているようです。そして、申請時に利用料を前納しているとのこと。
アドバイザー	しかし、あまり評判は良くないようです。
本田委員	窓口に来てくれれば話し合いのもとで決められるので、良いと思います。
宮崎部会長	その他の意見はないでしょうか。情報提供については、利用状況などをあらかじめ知らせるといったことですね。
事務局	ホームページの利用が考えられます。
本田委員	ポスターの掲示など、年間のスケジュールが一目でわかるような形が良いと思います。いつ何があるか、長いスパンでわかると良いと思います。
大西委員	ホームページが一番良いと思います。
事務局	イベント情報など、ホームページでの公表が良いと思いますが、見られないという方もいます。ポスターなどの掲示も、あまりに先の情報の周知は難しいですし、ある程度近くなしないと作らないと思います。大まかなイベントスケジュールの掲載は可能です。
平野委員	紙をバタバタ貼るよりも、パソコンを1台置いて、閲覧できるようにすれば良いと思います。ボタン1つで見れるような形にすることは、そんなに難しくないとはいえません。
大西委員	簡単な操作で確認できれば良いですね。
アドバイザー	ポスターやパネルなどは、見た目では誰が来る等の情報がわかって楽しい部分もあります。それは管理者側がやってくれると思います。
大西委員	ある程度のスペースを作って、主催者が掲示すれば良いと思います。
宮崎部会長	先ほどのホームページの話は、利用の予定に関する部分でしたが、これはPRの話ですね。
アドバイザー	ポスターなどは勝手に貼ってはいけませんので、管理者が審査して貼ることになります。
事務局	体育施設ではその月の予約状況がホームページで確認できます。
宮崎部会長	利用決定方法についてはいかがでしょうか。
大西委員	受け付け順なのか、同日に来た場合は抽選にするのか、最初から決めておいた方が良いと思います。
本田委員	バッティングした時に、話し合ってくださいと言われても、困ってしまいます。
事務局	1年～1年半前から予約ができるところもあるようですが、決められた日に来た人で抽選というのが公平だと思います。ただ、1年前で区切るのか、年度で区切るのかという問題があります。
大西委員	いつまで先のを予約できるのかも、決めなければなりません。
事務局	例えば1年前からだと、翌年の5月5日に予約したいとなれば、その年の5月1日から申込み開始という方法が考えられます。

本田委員	TOMでは12月の申込みをしようと2月に行ったら、4月からと言われました。4月に再び訪れて何とか予約ができましたが、いつからの受付が良いのでしょうか。
事務局	③申請時期での検討事項となります。
大西委員	希望が重なったときの決定方法を決めなければなりません。先着なのか、抽選なのか。
平野委員	利用決定方法は、先着順の方が良いのではないのでしょうか。
宮崎部会長	申請時期について、メインホールについてはいかがでしょうか。
井上委員	一般的には1年前が多いと思いますが、きっかりの1年前なのか1年前の月頭なのか。
本田委員	学校行事がわかってからの3月や4月というところもあります。
大西委員	学校行事は優先されるのでしょうか。
アドバイザー	優先されます。
平野委員	次年度の予定は3月中に決まりますので、4月にはわかるのではないのでしょうか。
村上委員	4月から3月までの予約を4月1日から受付ということでしょうか。
事務局	丸々1年前からという方法もあります。
村上委員	学校の行事予定が決まるのは3月かもしれませんが、担当者はもっと早くにわかっているので、事前に予約することも可能だと思います。
本田委員	1年前からで支障はありませんし、決めてもらって従えば良いことだと思います。
アドバイザー	他にも成人式などが入ってきます。大体が1年前からということで、月頭から翌年同月分の受け付けを開始します。月頭には皆さん並びます。
宮崎部会長	メインホールについては1年前の月頭からとします。
平野委員	そうすると、1日が日曜日ということもあるので、やはり休館日はない方が良いということになります。
アドバイザー	休館日は基本的にありませんが、舞台保守日は設定しなければなりません。音響や照明などの、安全管理をする必要があります。
本田委員	かでの2・7の書き方が良いと思います。
井上委員	仮に1年前の月頭に人が殺到してしまった場合、あくまでも先着順でしょうか。
アドバイザー	都市部ではありますが、地域ではあまりないと思います。
本田委員	先着順でも、事前に入ると思われる日は予約できないこともあります。受付の担当者が大体把握しています。
アドバイザー	そこが文化の曖昧さの良い部分でもあります。
事務局	1年前から7日前までといった制限を設けているところもありますが、いかがでしょうか。メインホールは前日申込みということはないとは思いますが。
本田委員	湧別では舞台だけを貸してくれることがあります。
井上委員	びほーるの資料を見ると、結構柔軟に対応しているようです。

事務局	舞台装置の技術スタッフの確保もあって、1週間前という設定なのでしょうか。
アドバイザー	それもあると思います。そういった申込みが来た時は臨機応変に対応するような体制が良いと思います。講習会だとか、照明などを使わないものであれば可能だと思います。
宮崎部会長	本日は③申請時期までの協議にしたいと思います。小ホール、リハーサル室、会議室、研修室、和室についてはいかがでしょうか。
本田委員	リハーサル室の場合、決まった曜日で通年利用する団体があると思いますが、どのような予約になるのでしょうか。
平野委員	メインホールを使う兼ね合いでリハーサル室を使うこともあると思います。
藤江委員	メインホール以外も、同じ考え方で良いのではないのでしょうか。
大西委員	年間通して何曜日の何時から何時までといった予約はできるのでしょうか。メインホールとリハーサル室の関連もあります。
事務局	ちなみに体育施設では、そのような何曜日の何時から何時までといった利用の仕方が多いです。ただ、何かある場合は調整するというで運営しています。
大西委員	こちらも同じで、メインホールに必要なものがある場合など、その際は使えないということを前提に借りてもらう必要があると思います。
平野委員	その時は違う部屋を使ってもらうことも可能だと思います。
宮崎部会長	メインホール以外も、1年前の月頭からの受付といたします。ここまでの話を振り返って、いかがでしょうか。
本田委員	確認のため、一通りおさらいをお願いします。
事務局	<p>① 開館日、開館時間 休館日：年末年始のみ（メンテナンスのための休館日あり） 開館時間：9時から22時 受付時間：10時から17時</p> <p>② 利用申請方法 申請方法：窓口の受付のみ 申請時間：10時から17時 情報提供：ホームページ及びパソコン等の操作盤を設置 チラシやポスターの設置スペースを確保 利用決定方法：先着順</p> <p>③ 利用申請方法 すべての室：1年前の月頭から受付開始</p>

3 次回の日程について

説明要旨
<ul style="list-style-type: none"> 6月23日（金）は18時から施設部会を予定しており、同日の15時からとしたい。

【意見】

発言者	内容
大西委員	プレミアムフライデーの制度がありますが、役所的にどうでしょうか。
平野委員	最終金曜日ということで、6月は違いますね。
事務局	シートを埋めていくにあたって、お渡ししている資料以外からも、委員の皆様からの提案があれば、盛り込んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。また、本日の協議事項についても、追加・修正をしていきたいと思っております。
宮崎部会長	本日の資料は次回以降も使用しますので、持参されますようお願いいたします。

4 閉会

(午後4時50分閉会)

別紙

第1回(仮称)えんがる町民センター建設検討協議会管理部会出席者名簿

区分	氏名	団体名等	備考
委員	宮崎良公	遠軽町自治会連絡協議会	部会長
委員	村上武志	えんがる町観光協会	
委員	本田ちづ子	ダンス教室 ami:φアミ	
委員	藤江昭	遠軽町社会福祉協議会	
委員	井上幸次	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	伊藤栄三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	
委員	平野由美子	フラスタジオ・UEDA	
委員	大西定信	元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	清水川一儀	一般公募、連合遠軽	
アドバイザー	太田晃正	有限会社時円プランニング代表取締役	
事務局	加藤俊之	総務部長	
事務局	斉藤隆雄	総務部地域拠点施設準備室長	
事務局	今井昌幸	総務部地域拠点施設準備室参事	
事務局	安西一樹	総務部地域拠点施設準備室主任	
事務局	中川原英明	総務部地域拠点施設準備室	
コンサルタント	株式会社石本建築事務所札幌支所		1名
コンサルタント	日本都市設計株式会社		1名
計	17名		